



ContentAsia's

The BIG List

directory

REPUBLIC OF THE PHILIPPINES

フィリピン

2025年5月

アジア・メディアコンテンツおよびサービス総合名鑑

この度、ContentAsia社より、同社発行「The BIG List」の日本語版を発行する許諾をいただきました。ContentAsia社のご協力に感謝申し上げますとともに、本資料が皆様のお役に立てることを願っております。なお、日本語版は、原文（英語）を翻訳したうえで、若干の補足説明を加えております。

一般社団法人放送コンテンツ海外展開促進機構(BEAJ)

2026年3月

# フィリピン 概況

原文発行日: 2025年5月

## 掲載一覧

### 無料放送 (Free TV)

- A2Z
- ALLTV
- GMA Network
- Intercontinental Broadcasting Corporation (IBC)
- NET25
- People's Television Network Inc (PTNI)
- RPTV
- Sonshine Media Network International (SMNI)
- TV5
- UNTV

### ケーブルテレビ

#### 全国向け (Cable TV National)

- Converge ICT (コンバージICT)
- SkyCable (スカイケーブル)

### ケーブルテレビ

#### 地方向け (Cable TV Provincial)

- Asian Vision (アジアン・ビジョン)
- Cablelink (ケーブルリンク)
- DCTV
- Parasat Cable TV (パラサット・ケーブルTV)
- Royal Cable (ロイヤル・ケーブル)

### 衛星放送 (Direct-to-Home, DTH)

- Signal TV (シグナルTV)
- Global Satellite (GSat)

### チャンネル配信 (Channel Distributors)

- Asian Cable Communications (ACCION)
- Cable Box Office Shows and Systems (Cable BOSS)

### ストリーミング

#### 国内 (Streaming Local)

- Blast TV
- Signal Play
- iWantTFC
- Pilipinas Live
- VMX/Viva Networks

#### ストリーミング 海外 (Streaming International)

概況

- Netflix
- Prime Video
- Viu

### 制作会社 (Production Houses)

- 7000 Islands (7000アイランズ)
- ABS-CBN Studios (ABS-CBN スタジオ)
- AgostoDos Pictures (アゴストドス・ピクチャーズ)
- Alta Productions (アルタ・プロダクションズ)
- ANIMA Studios (アニマ・スタジオ)
- APT Entertainment (APT エンターテインメント)
- BlackOps Studios Asia (ブラックオプス・スタジオ・アジア)
- Black Sheep (ブラック・シープ)
- Cornerstone Studios (コーナーストーン・スタジオ)
- Dreamscape Entertainment (ドリームスケープ・エンターテインメント)
- Fritz Productions (フリッツ・プロダクションズ)
- GMA Pictures (GMAピクチャーズ)
- The IdeaFirst Company (ジ・アイデアファースト・カンパニー)
- MQuest Ventures (Mクエスト・ベンチャーズ)
- OctoArts Films (オクトアーツ・フィルムズ)
- Probe Productions (プローブ・プロダクションズ)
- Quantum Films (クアンタム・フィルムズ)

- Reality MM Studios (リアリティMMスタジオ)
- Regal Entertainment (リーガル・エンターテインメント)
- Rocketsheep Studio (ロケットシープ・スタジオ)
- Star Cinema (スター・シネマ)
- Star Creatives (スター・クリエイティブズ)
- Studio Three Sixty (スタジオ・スリー・シックスティ)
- TBA Studios (TBAスタジオ)
- TOP Draw Animation (トップ・ドロー・アニメーション)
- TVJ Productions Inc (TVJプロダクションズ)
- UxS - Unitel Productions / StraightShooters Media (UxS - ユニテル・プロダクションズ / ストレートシューターズ・メディア)
- Viva Communications (ビバ・コミュニケーションズ)

### 政府機関・監督機関

#### (Government Agencies, Regulators)

- 情報通信技術省 (DICT)
- フィリピン映画開発協議会 (FDPCP)
- 国家電気通信委員会 (NTC)
- 映画テレビ検閲格付け委員会 (MTRCB)
- フィリピン映画アーカイブ (PFA)

## 統計データ

総人口	1億1,650万人
総世帯数	2,639万世帯
平均世帯人数	4.1人
テレビ保有世帯率	79.9%

出典: Worldometer (人口, 2025年3月時点)、フィリピン統計局 (世帯数、2020年国勢調査)



Incognito, ABS-CBN Studios

依然として負債を抱え、地上波放送の免許を失ってから5年が経過した今もなお厳しい圧力にさらされながら、ABS-CBNはフィリピンのビデオ・エンターテインメント市場における自らの地盤を死守すべく、目覚ましい防衛戦を続けている。

かつては考えられなかった他社との同盟を含むその懸命な努力は、数々のヒット作を生み出した。その筆頭が、2024年に記録的なヒットを飛ばした映画『Hello, Love, Again』だ。世界興行収入は16億フィリピン・ペソ（約2,860万米ドル）に達し、フィリピン映画史上最高額となった。

ABS-CBN Studios、Star Cinema、GMA Picturesによる初の共同制作となった同作は、過去5年間で劇的に塗り替えられたフィリピンのエンターテインメント界の勢力図が生んだ（あるいは、その激変があったからこそ生まれた）成長著しいコンテンツ群を象徴する一本と言える。

2020年の免許失効を機に始まったABS-CBNとGMAの歴史的和解は、今も揺るぎない。2025年3月には、『Pinoy Big Brother』の放送20周年を記念し、人気タ

レントらが集結するセレブリティ・エディションを共同制作。両社はこの節目を、「さらなる画期的なコラボレーション」と位置づけている。

他にも協力事例は多い。ABS-CBNの人気昼番組『It's Showtime』は、2023年7月にGMAのサブチャンネル・GTVで放送を開始、2024年4月にはGMAのメインチャンネルへと昇格した。2023年のドラマシリーズ『Unbreak My Heart』は、GMA Network、ABS-CBN傘下のDreamscape Entertainment、そして香港を拠点とする配信プラットフォーム「Viu」による共同制作だ。キャストにはジョディ・スタ・マリア、リチャード・ヤップ、ジョシュア・ガルシア、ガビ・ガルシアなど、両局のスターが顔をそろえ、GMAでの放送と同時に15の地域でViuを通じて配信された。

おそらく、最も皮肉な「新たな協力関係」と言えるのが、ABS-CBNの番組が「チャンネル2」の放送帯域に復活したことだ。この周波数は、2020年のドゥテルテ政権下で、同社が死守しようと必死に戦いながらも最終的に奪われた、かつての自社チャンネルそのものだ。

ちょうど1年前の2024年4月、ABS-CBNとAMBS（Advanced Media Broadcasting System）は提携を発表。これにより、旗艦ニュース番組『TV Patrol』をはじめとするABS-CBNの優良コンテンツが、AMBS傘下のAlltvで放送されることになった。2024年5月に始動したこの提携は、ABS-CBNにとって一種の里帰りとも言える。かつてチャンネル2からの退去を余儀なくされ、その周波数が政治・経済に強大な影響力を持つビリアル家率いるAMBSへ譲渡されるのを傍観するしかなかった同社が、ふたたび慣れ親しんだ枠へと戻ってきたからだ。

### 有料多チャンネル放送(SUBSCRIPTION TV)

フィリピンの有料放送市場において、圧倒的な規模とシェアを誇るSignalが華々しい成功を体現している一方で、ABS-CBN傘下のSkyCableが歩んでいるのは、あまりに過酷で凄惨な道のりだ。2020年のABS-CBN地上波放送停止による打撃を正面から受けた同プラットフォームは、2024年初頭、サービス終了予定のわずか5日前にしてようやく存続が決定。まさに死の淵から引き戻される形となった。

これにいたる経緯は非常に複雑だ。事の発端は、通

信・メディア大手のPLDTが2023年3月に合意していたSkyのブロードバンド事業および67億5,000万ペソ(1億2,300万米ドル)の関連資産の買収を、最終的に断念したことにある。当初の買収計画には、この地域で最も長い歴史を持つ有料放送の一つであるSkyのテレビ事業を完全に終了させるという条件が盛り込まれていた。つまり、Skyを放送事業から撤退させ、インターネット接続サービス専業へと転換させる計画だったのである。

規制当局の承認はすべて得ていたにもかかわらず、最終的な契約条件で合意に至らなかった背景には、さまざま憶測が飛び交っている。当時の内部関係者は、そこに政治的な力が介入した可能性を否定していない。2020年にABS-CBNが放送免許を失って以来、この根深い政治的な対立構造が影を落とし、国内メディア業界の勢力図を塗り替えようとする試みは、これまでも幾度となく土壇場で頓挫させられてきたと言われている。

それから1年が経過した今もなお、SkyCableをめぐる騒動は、次々と話題を提供してくれるメディアにとって格好のネタであり続けている。

2025年4月ABS-CBNは、デニス・アンソニー・ウィ率いるコンバージ(Converge)系列のリライアンス社(Reliance Broadcasting Unlimited)に対し、保有設備を売却した。この取引が特に注目を集めたのは、その異例とも言える売却価格の低さだ。同社は「単なる不要資産の処分」と説明しているが、帳簿価格31億ペソ(5,490万米ドル)相当の設備を、わずか750万米ドルという破格の安値で手放した。この譲渡により、ABS-CBNは4,760万米ドルという巨額の損失を計上した。

2023年にも財務再編の一環として4,250万米ドルの評価減を行っていた同社にとって、今回の件はさらなる追い打ちとなった形だ。

現地メディアがこの大幅な値引きについて報じると、同社はフィリピン証券取引所に対し、「これらは放送免許を失い、閉鎖に追い込まれた衛星放送(DTH)事業の不要なインフラを処分したに過ぎない」との釈明に追われた。しかし、この説明によって、ウィ氏がSkyCableを再興させるのではないかという憶測が収まることはないだろう。それどころか、その推測が現実のものとなる可能性さえ、十分に考えられる。

## 映画(FILM)

2025年のフィリピン映画興行界は、ごく一部の成功例を除けば、その大半が低迷を余儀なくされている。Box Office Mojoのデータによると、2025年4月末時点の総興行収入はわずか800万米ドルにとどまった。これは2024年の同期と比較してそれほど悲観的な数字ではないものの、最終的に4,550万米ドルを記録した昨年や、4,700万米ドルに達した2023年の実績を大きく下回る懸念があり、業界内では警戒感が強まっている。ちなみに、過去最高を記録したのは2015年で、その興行収入は1億5,740万米ドルという驚異的な規模に達していた。

近年の明るい話題を牽引しているのは、2024年に公開された『Hello, Love, Again』だ。同作は世界興行収入16億ペソ(2,860万米ドル)をたたき出し、フィリピン映画史上最高の興行記録を更新した。これに続き、2025年3月には国産ラブコメ『My Love Will Make You Disappear』がヒットを記録し、国内興行のピークを作っている。

2025年のフィリピン週末興行ランキング(4月27日時点)を振り返ると、首位は『キャプテン・アメリカ: ブレイブ・ニュー・ワールド』(興収170万米ドル、2月12~16日)、これに続く第2位がABS-CBN Film Productions製作・Star Cinema配給の『My Love Will Make You Disappear』(興収107万米ドル、3月26~30日)となっている。4月末までに100万米ドルの大台を突破できたのは、現在までこの2作品のみという状況だ。

『My Love Will Make You Disappear』は、大ヒットドラマ『Linlang』やフィリピン版『キム秘書はいったい、なぜ?』のコンビ、キム・チュウとパウロ・アヴェリーノによる初の映画共演作である。チャド・V・ヴィダネス監督が手がける本作は、自らを呪われた存在だと信じ込む女性を主人公に据えている。そんな彼女の人生は、ある男性との出会いによって一変することになる。彼は自分自身の抱える苦悩から逃れるために、あえて彼女の呪いを救いとして受け入れようとする。6月の興行については、ディンドン・ダンテスとチャロ・サントス・コンシオが主演するStar CinemaとCornerstone Studio共同製作の『Only We Know』に大きな期待がかかっている。



Kim Chiu, Pinoy Big Brother Celebrity Edition

## 無料放送 (Free TV)

### A2Z

ZOE Broadcasting Network (Jesus Is Lord Churchのメディア部門) と ABS-CBN の提携により運営。宗教番組とエンターテインメント番組を織り交ぜて放送している。ABS-CBN の地上波放送免許が更新されなかったことを受け、2020 年に開局した。

### AllTV

2022 年末に開局。運営主体の Advanced Media Broadcasting System (AMBS) は、ABS-CBN の免許不更新に伴い、かつて同社に割り当てられていた放送周波数を引き継いだ。AMBS は、実業家で元上院議員のマニー・ビリアール率いる Villar Group が支援する All Value Holdings Inc が所有している。2024 年初頭、ABS-CBN と番組供給契約を締結し、『TV Patrol』『Magandang Buhay』『It's Showtime』といった ABS-CBN の旗艦タイトルを AllTV で放送している。

## GMA Network

設立 75 周年を迎えた GMA は、国内 115 のテレビ局と 21 のラジオ局を運営している。「カプソ (Kapuso) ・ネットワーク」の名でも知られ、テレビ、ラジオ、オンラインプラットフォームに加え、番組シンジケーション、映画製作、音楽出版・配信、セットデザイン、映像制作、ニューメディアなど、多角的なメディア関連事業を展開。ニールセンの調査データによれば、同社のサービスはフィリピン人口の 93% (6,700 万人) にリーチしている。また、2024 年には Facebook、TikTok、YouTube を合わせて 455 億回のビデオ再生数を記録した。

2025 年も極めて良好な状態でスタートを切っている。理由の一つは 5 月の中間選挙に伴う政治広告収入だが、第 1 四半期の業績が「輝かしい (sterling)」ものとなった要因はそれだけではない。一般広告主も戻っており、2025 年最初の 3 ヶ月間の広告収入は、前年同期比 29% 増の 43 億 3,863 万ペソ (7,750 万米ドル) に急増。同期の純利益は、前年比 294% 増となる 8 億 84 万ペソに達した。視聴率の面では、旗艦チャンネル GMA-7 のラインナップの中でも、長寿番組である日曜夜の『Kapuso Mo, Jessica Soho』が首位を独走している。一方、第 2 の地上波チャンネルである Good TV (GTV) はそこまで振るわず、デジタル地上波 (DTT) の 2 局 Heart of Asia と I Heart Movies は、堅調ながら、爆発的な勢いには欠けている。

## Intercontinental Broadcasting Corporation (IBC)

1959 年 10 月設立。IBC (IBCTV13) は政府系放送局として、公共サービス番組、ニュース、行政・社会問題を扱うコンテンツを軸とした放送を行っている。

### NET 25

Eagle Broadcasting Corporation (EBC) が所有・運営。旗艦局の DZEC-TV は、マニラ首都圏において UHF 25 チャンネルで放送している。国内外のニュース、情報、エンターテインメントを、多様なプラットフォームを通じて提供している。

## People's Television Network Inc (PTNI)

政府所有の放送局。1974 年に Government

Television (GTV-4) として開局し、現在はPeople's Television (PTV) の名で運営されている。ニュース、行政・社会問題、スポーツ、番組フォーマット（海外企画の国内版など）、ライフスタイルといった国内向けコンテンツに加え、一部の地域・国際番組も放送している。

### RPTV

RPTV (Radio Philippines Television) は、Nine Media CorporationとCNNの間のブランドライセンス契約終了に伴い、2024年2月より「CNN Philippines」に代わって放送を開始した。地上波放送ネットワークである同局は、TV5 NetworkとNine Media Corporationによって共同所有・運営されている。番組構成はニュース、エンターテインメント、スポーツを織り交ぜており、『Eat Bulaga!』や『Will To Win』、フィリピン・バスケットボール協会 (PBA) の試合生中継などが主なコンテンツとなっている。

### Sonshine Media Network International (SMNI)

Sonshine TV (SMNI) の名で、全国に7つの地上波チャンネルを展開している。主に宗教番組、ニュース、および公共サービス番組を中心に放送している。

### TV5

PLDTの子会社であるMediaQuest Holdingsが所有している。総合エンターテインメント・チャンネルとして、『哲仁王后～俺がクイーン!? (Mr. Queen)』などの韓国ドラマから、ムーンバグ・エンターテインメント (Moonbug Entertainment) の『Cocomelon』、さらにはABS-CBN Studios制作の『Got Talent』や『Eat Bulaga!』に至るまで、幅広いラインナップを提供している。

### UNTV

Progressive Broadcasting Corporationが2002年5月に開局した24時間放送のUHF局。かつてはUNTV News & RescueおよびUNTV Public Serviceという2つのブランド名で知られていた。現在は、エンターテインメントやニュースを含む、自国制作の番組を中心に放送している。

## ケーブルテレビ

### 全国向け (Cable TV National)

#### Converge ICT (コンバージ ICT)

光ファイバー・ブロードバンド網 (Converge FiberX) をはじめ、IPTV (Pacific Kabelnetとの提携によるConverge Vision)、ケーブルテレビ (Air Cable)、ケーブルインターネット (Air Internet) を展開する通信サービスプロバイダー。IPTVサービスのConverge Visionでは、国内外のチャンネルを月額99ペソ (1.70米ドル、SD59局+HD2局)、または月額299ペソ (5.20米ドル、SD78局+HD10局) で提供している。2024年10月にはNetflixとのセット販売契約を締結した。このConverge Netflix Bundlesは、エントリープラン向けのハードバンドル (月額1,798ペソ、31米ドル〜) と、追加契約のアドオン形式 (月額298ペソ、5米ドル〜) の両方で提供されている。2024年末時点の住宅向け総加入者数は256万3,458件に達しており、その内訳は後払い契約が2,272,827件、プリペイド契約が290,631件となっている。

#### SkyCable (スカイケーブル)

ABS-CBNグループの一翼を担うSkyCableは、1990年1月にサービスを開始した。事業内容はブロードバンドサービスのほか、多彩なチャンネルをそろえたHDケーブルテレビを提供している。月額の後払い料金は、99ペソ (1.70米ドル) から499ペソ (9米ドル) の範囲となっている。また、ABS-CBNは自社で5つのケーブルチャンネルC1 (Cinema One)、Jeepney TV、Knowledge Channel、Metro Channel、MYXと、ニュースプラットフォームのANCを運営している。

## ケーブルテレビ

### 地方向け (Cable TV Provincial)

#### Asian Vision (アジアン・ビジョン)

1973年設立。Asian Vision Cable Holdings Inc (AVCHI) は、バタガス、ケソン、ザンバレスの各州でケーブルテレビおよびブロードバンド事業を展開している。同社は、多彩なライブチャンネルやオンデマンドコンテンツを提供するストリーミングサービスBlast TV Passをセットにした光インターネットプランを提供している。例えばHOMEWYFY 1499プランでは、最

大300Mbpsの通信速度にBlast TV Passが付帯し、月額1,499ペソ（26米ドル）で提供されている。

### Cablelink（ケーブルリンク）

マニラ首都圏でケーブルテレビおよびブロードバンド・インターネット・サービスを展開するプロバイダー。基本のケーブルテレビ・パッケージでは、月額495ペソ（9米ドル）で、国内・地域・国際放送を含む60以上のチャンネルを提供している。

### DCTV

ビコール地方でデジタルケーブルテレビ、光ファイバー・ブロードバンド、およびストリーミングサービスを提供している。海外番組、宗教、音楽、スポーツ、映画、ニュース、キッズ、総合エンターテインメント、自国制作番組など、国内外の多様なジャンルのチャンネルを取り揃えている。

### Parasat Cable TV（パラサット・ケーブルTV）

1991年にミンダナオ島北部で設立。カガヤン・デ・オロ市とその周辺地域を対象に、デジタルテレビ、ブロードバンド・インターネット、固定電話、およびそれらを組み合わせたトリプルプレイ・サービスを提供している。ケーブルテレビとインターネットのセットプラン（Parafibre+cable）は、月額999ペソ（17米ドル）で54局以上のチャンネル+90Mbpsから、月額2,599ペソ（45米ドル）で156局以上のチャンネル+600Mbpsまでのラインナップを揃えている。

### Royal Cable（ロイヤル・ケーブル）

1992年設立。国家電気通信委員会（NTC）の認可を受けた、フィリピン資本100%のケーブルテレビおよびインターネットサービスプロバイダー。ラグナ州のビニヤン、スタ・ロサ、カブヤオ、カランバなど、多くの都市や自治体で事業を展開している。デジタルTVプランは月額699ペソ（12米ドル）で、最大104チャンネル（HD放送37局、デジタル補正済チャンネル67局）を提供している。

## 衛星放送(Direct-to-Home、DTH)

### Signal TV（シグナルTV）

2009年に開局し、現在はフィリピン最大の有料テレビ放送プラットフォームとなっている。130以上のチャンネル（地上波、SD・HD）と17の音声チャンネルを提供。月額の後払いプランは、290ペソ（5米ドル）で15 HD・78 SD局から、1,990ペソ（35米ドル）で32 HD・102 SD局までの範囲で展開している。また、オンデマンド・ストリーミングプラットフォームのSignal Play、低価格なプリペイド式有料放送サービスSatLite、そしてオリジナル番組の制作・配給で知られるコンテンツ事業Signal Entertainmentを運営している。同社は、PLDTグループのメディア・パートナーであるMediaQuest Holdingsの子会社、Signal TV Inc.によって所有・運営されている。

### Global Satellite（GSat）

2009年設立。First United Broadcasting Corpが所有し、Global Broadcasting and Multi-Media Incorporated（GBMI）が運営するDTH（衛星放送）プロバイダー。英語をはじめとする多言語の国内外チャンネルを組み合わせ提供しており、約102のSD・HDチャンネルと14の音声チャンネルを放送している。プリペイドパッケージは、30日間で99ペソ（1.70米ドル、テレビ42局+ラジオ14局）から、プレミアムパックの30日間500ペソ（9米ドル、テレビ102局+ラジオ14局）までの価格設定となっている。

## チャンネル配信事業者(Channel Distributors)

### Asian Cable Communications（ACCION）

フィリピン国内の約400におよぶ提携プラットフォームや放送事業者に対し、アジア地域の多様な国際・ローカルチャンネル、およびコンテンツを供給している。

### Cable Box Office Shows and Systems（Cable BOSS）

有料放送の黎明期である1993年に設立。ルソン、ビサヤ、ミンダナオの各地域の家庭へ海外番組を届ける上で、中心的な役割を果たしてきた。提携するケーブルテレビ事業者は全国で500社を超えている。

## ストリーミング 国内(Streaming Local)

### Blast TV

Digital Media Venturesが、2023年にConverge ICTとの提携により開始した配信プラットフォーム。ライブ放送チャンネルに加え、NBCユニバーサル、ソニー・ピクチャーズ エンタテインメント、CJ E&Mといったスタジオ作品、さらにはNBAやプレミアリーグなどのスポーツ中継を提供している。広告付きコンテンツは無料で視聴できるほか、月額179ペソ(3米ドル)のBlast Pass Monthlyを購入すれば、25以上のライブチャンネルと1,000本以上の映画・ドラマシリーズのライブラリにアクセス可能となる。

### Signal Play

Signal TVが開始した、ライブ放送とオンデマンド配信の両方を提供するストリーミングサービス。スポーツ、ニュース、ライフスタイル、エンターテインメントを含む80以上のチャンネルに加え、膨大な映画やドラマシリーズのライブラリを備えている。Signalの有料テレビ放送(Pay TV)契約の有無にかかわらず、すべてのユーザーが利用可能。プレミアムプランは月額149ペソ(2.70米ドル)から。ウェブ、モバイルアプリ、スマートTVで視聴できる。

### iWantTFC

2020年に「iWant」と「TFC Online」の統合により誕生した、ABS-CBNの配信プラットフォーム。2025年6月のリニューアルを予定しており、ユーザーインターフェース(UI)の刷新やデバイス間のシームレスな連携強化を掲げている。コンテンツはフィリピン産の作品を幅広く提供。レスター・ピメンテル・オンが手掛け、2025年にNetflixフィリピンで4週連続1位を記録した大ヒット作『Incognito』や、ココ・マーティンとイヴァナ・アラウィ主演の『FPJ's Batang Quiapo』などのABS-CBN作品を配信している。また、Kapamilya Channel、TeleRadyo Serbisyo、ANCといったABS-CBN系チャンネルのライブ配信も行っている。広告付きの無料ベーシックプランと広告なしのプレミアムプランを提供。基本無料で一部を有料とするフリーミアムモデルを採用しており、最初の5エピソードの無料視聴や、TVOD(都度課金)による映画レンタルが可能。海外展開では、

GMAなどの放送局にとっても国外視聴者へリーチするための重要な手段となっており、2024年半ばからGMA Pinoy、GMA Life TV、GMA News TVの3チャンネルセットを配信中。月額料金は、米国で23.98米ドル、カナダで19.98カナダドル、英国および中東・欧州・アジアの一部地域では14.98米ドルとなっている。

### Pilipinas Live

Signal TVが2023年6月に開始した、フィリピンのスポーツ特化型ストリーミングプラットフォーム。PBA(バスケットボール)、UAAP(大学スポーツ)、PVL(バレーボール)といった国内主要リーグのライブ中継やオンデマンド配信を提供している。見逃し配信や独占コンテンツに加え、マルチカメラアングル、およびファン向けのインタラクティブ機能が特徴。ハイライトやニュースは無料で視聴でき、プレミアムプランは月額129ペソ(2.29米ドル)からの設定となっている。

### VMX / Viva Networks

Viva Communications Inc.が運営する配信プラットフォームで、2024年10月に1,200万人の加入者突破を記念してVivamaxからVMXへ名称とブランドイメージを刷新した。世界78カ国で利用可能。大胆なストーリーテリングを特徴とするフィリピン映画、ドラマシリーズ、オリジナルコンテンツを提供している。加入者は、毎週公開される新作やVMX Club限定コンテンツ、VMX映画祭などのイベントを楽しむことができる。料金は月額149ペソ(2.70米ドル)から。フリートライアルの代わりに、長期契約に応じて利用日数が追加されるボーナス特典が用意されている。また、Viva CommunicationsはViva Networksを通じて、PBO(Pinoy Box Office)、Viva Cinema、Viva TV Plusといった有料テレビチャンネルも運営している。タガログ語吹き替え(タガライズ)コンテンツの先駆者でもあり、Tagalized Movie Channel(TMC)やCelestial Movies Pinoy(CMP)といったチャンネルも立ち上げている。これらのチャンネルは、フィリピン全国のDTH(衛星放送)およびケーブルテレビ事業者を通じて視聴可能となっている。

## ストリーミング

### 国際サービス(Streaming International)

#### (概況)

フィリピンの消費者は、多岐にわたる国際的なストリーミングサービスを利用できる。主なサービスと料金は以下の通り。

**Apple TV+**: 7日間の無料トライアル後、月額369ペソ (6.60米ドル)。

**Crunchyroll (アニメ配信)**: 月額79ペソ (1.40米ドル) から年額999ペソ (18米ドル) まで。

**Disney+**: (原文に記載なし)

**Max**: モバイルプランが月額149ペソ (2.70米ドル)。HBO時代にはフィリピン版『エージェント物語 (Call My Agent)』などの現地オリジナル作品の制作計画もあったが、現在は撤退している。

**iQiyi**: 過去には現地作品の共同プロデューサーとして積極的に活動していた。月額79ペソ (1.40米ドル)、または週額29ペソ (0.50米ドル)。

**YouTube Premium**: 学割の月額79ペソ (1.40米ドル) から、最大6名までのファミリープラン月額379ペソ (6.80米ドル) まで。

Netflix、Prime Video、そしてViuが、フィリピン現地の制作会社や配信会社と最も深く関わっている。

#### Netflix

Netflixは、フィリピンにおけるグローバル配信事業者のオリジナル作品制作、および現地作品の買い付け活動を牽引している。主な配信作品には、アントワネット・ハダオネが原案、ダン・ヴィレガスが監督を務めたロマンスドラマ『Replacing Chef Chico』(2023年)、アヴィッド・リオンゴレン監督の大人向けアニメ・ラブコメ『Hayop Ka! (You Animal!)』(2020年)、ホラー・クライム・アニメシリーズ『Trese』(2021年)、ブリランテ・メンドーサ監督のクライムドラマ・シリーズ『Amo』(2018年) などがある。また直近では、レスター・ピメンテル・オンが監督し、Star CreativesとStudio Three Sixtyが制作したABS-CBN Studiosの大ヒットシリーズ『Incognito』も配信している。

月額料金は以下の4つのプランが用意されている。

モバイル: 149ペソ (2.70米ドル)、モバイル端末1台での視聴。

ベーシック: 249ペソ (4.50米ドル)、1台の端末でHD画質での視聴。

スタンダード: 399ペソ (7米ドル)、2台の端末でフルHD画質での視聴。

プレミアム: 549ペソ (10米ドル)、最大4台の端末でUltra HD画質での視聴。

#### Prime Video

Prime Videoは2023年末にかけて、フィリピンにおけるオリジナル作品制作の有望なプラットフォームとして浮上し、『LOL: Last One Laughing Philippines』(Amazon MGMスタジオとUnitel Straight Shooters Mediaの共同制作) や『Comedy Island Philippines』、そしてジュン・ラナ監督による初のフィリピン・オリジナル映画であるブラックコメディ『Ten Little Mistresses (Sampung Mga Kerida)』といった作品の制作を承認した。これらは、東南アジア全体での現地コンテンツ強化に向けた大々的な(しかし最終的には短命に終わった)攻勢の一環であった。それにもかかわらず、Prime Videoは引き続き現地作品への支援を続けている。主な作品には、日本の放送局である日本テレビのドラマ『Mother』をリメイクしたABS-CBNの『Saving Grace』、ケネス・ダガタン監督の『In My Mother's Skin』(2023年)、ABS-CBN Studiosのサイコスリラー『Cattleya Killer』(2023年) などがある。フィリピンにおけるPrime Videoの料金は、7日間の無料トライアル後、月額149ペソ (2.70米ドル) となっている(2025年5月時点)。

#### Viu

Viuはフィリピンにおいて、制作パートナーシップおよび投資モデルを推進している。このモデルから、韓国のスタジオ・ドラゴン(Studio Dragon)の原作をABS-CBN StudiosとDreamscape Entertainmentがリメイクした全40話のドラマ『キム秘書はいったい、なぜ?』や、ドウェイン・バルタザールが監督し、ABS-CBN StudiosおよびDreamscape Entertainmentと共同制作したラブコメディ『How to Spot a Red Flag』(2024-2025年)といった作品が誕生した。なお、

『How to Spot a Red Flag』は、地上波ネットワークのA2ZやTV5を含む複数のプラットフォームでも放送された。また、Viuは消費者ブランドとの連携にも積極的だ。このカテゴリーは、2024年にコリンナ・ヴィスタンがViuとユニリーバ (Unilever) のために企画した異文化交流ロマンス・ミニシリーズ『Secret Ingredient』で幕を開けた。この物語は、料理をテーマにした背景の中で、幼馴染を探す韓国人男性を描いている。広告なしの月額プレミアムプランは、129ペソ (2.30米ドル) から提供されている。

## 制作会社(Production Houses)

### 7000 Islands (7000 アイランズ)

企業向けの音響映像 (AV) 制作やテレビドキュメンタリーを専門とする。撮影からポストプロダクション (編集・仕上げ) にいたるまで、映像制作に関する幅広いサポートを提供している。

### ABS-CBN Studios (ABS-CBN スタジオ)

ABS-CBN Studios (旧称 ABS-CBN Entertainment) は、ABS-CBN Corporationのエンターテインメント部門。フィリピン国内および世界各地に向けたテレビ番組や映画の制作・配給を担っている。ABS-CBN Studios内には、Dreamscape EntertainmentやStar Creativesをはじめとする複数の制作・クリエイティブユニットが属している。この部門を率いるのは、ABS-CBNのタレントマネジメント部門であるStar Magicの責任者も兼任するラウレンティ・M・ディヨギ (Laurenti M. Dyogi)。ABS-CBN Studiosは、『It's Showtime』、『ASAP』、『FPJ's Batang Quiapo』、『Pinoy Big Brother』などの作品で知られている。また、YouTubeチャンネル (ABS-CBN Entertainment) を通じたデジタル配信サービス「Kapamilya Online Live」や、Prime Video、Netflixといったプラットフォーム向けにもコンテンツ制作を行っている。

### AgostoDos Pictures (アゴストロス・ピクチャーズ)

AgostoDos Picturesは、2011年に俳優のディンドン・ダンテス (Dingdong Dantes) によって設立された独立系映画制作会社。ダンテス氏が自ら会長兼 CEO を

務めている。最近ではテレビシリーズにも進出しており、APT EntertainmentおよびGMA Entertainment Groupと共同制作した『Jose & Maria's Bonggang Villa』(2022年～2024年)などを手がけている。

映画プロジェクトにおいては、Star CinemaおよびMJM Productionsと制作した超自然的ホラー映画『Segunda Mano』(2011年)、Reality EntertainmentおよびGMA Filmsと共同制作したアクション・ホラー映画『Tiktik: The Aswang Chronicles』(2012年)と、その続編『Kubot: The Aswang Chronicles 2』(2014年)がある。また、Viva Filmsと共同制作した韓国映画のフィリピン版リメイク『A Hard Day』(2021年)や、Star CinemaおよびAPT Entertainmentと共同制作したロマンスドラマ『Rewind』(2023年)も手がけている。

### Alta Productions (アルタ・プロダクションズ)

GMA Networkの子会社。GMAおよび外部クライアントの両方に対し、国内外で放送およびライブ制作の包括的なサービスを提供している。

### ANIMA Studios (アニマ・スタジオ)

フィリピンを拠点とするエンターテインメント企業。映画監督のクオーク・エナレス (Quark Henares) が率い、幅広い層に支持される映画、ドラマシリーズ、ポッドキャストを制作している。代表作には『Marupok AF (Where is the Lie?)』などがある。また、オリジナルのポッドキャスト制作も手がけており、各プラットフォームを通じてその存在感を着実に高めている。

### APT Entertainment (APTエンターテインメント)

テレビ番組や映画の制作を手がけており、主要ネットワーク各社との共同制作も行っている。テレビシリーズのプロジェクトには、AgostoDos PicturesおよびGMA Entertainment Groupと共同制作した『Jose & Maria's Bonggang Villa』がある。また映画プロジェクトでは、Star CinemaおよびAgostoDos Picturesと共同制作したロマンスドラマ『Rewind』(2023年)などを手がけている。

## BlackOps Studios Asia (ブラックオプス・スタジオ・アジア)

世界の視聴者に向けたアジア発のコンテンツ制作に注力している。制作実績には、刑務所を舞台にしたアクションシリーズ『SellBlock』(2023年)、アクション映画『Maria』(2019年)、ホラー映画『Darkroom』(2017年)、アクション・クライム・ホラー映画『Geisha of Death』(2015年)などがある。初の共同制作プロジェクトとして、シンガポールのVery Tay Media (ヴェリー・テイ・メディア)と提携し、ペドリン・ロペス (Pedring Lopez) 監督の格闘ホラー映画『Blood Passage』を手がけている。本作のプロデューサーは、BlackOps Studios AsiaおよびPsyops8側をレックス・ロペス (Rex Lopez) が、Very Tay Media側をアラリック・テイ (Alaric Tay) が、それぞれ代表して共同で務めている。

## Black Sheep (ブラック・シープ)

2018年に設立された、Star Cinema (スター・シネマ)内のもう一つの制作部門。Black Sheepの第1作目は、アンジェリカ・パンガニバン (Angelica Panganiban) とカルロ・アキーノ (Carlo Aquino) が主演を務めたロマンスドラマ『Exes Baggage』だった。その後続く作品には、『Alone/Together』(2019年)、アントワネット・ハダオネ (Antoinette Jadaone) が監督したサイコロジカル・ドラマ『Fan Girl』(2020年)、およびデジタル BL (ボーイズラブ) シリーズの『Hello Stranger』などがある。

## Cornerstone Studios (コーナーストーン・スタジオ)

2005年にエリクソン・ライムンド (Erickson Raymundo) によって設立された Cornerstone Entertainment Inc (コーナーストーン・エンターテインメント) の映画・テレビ制作部門。制作タイトルには、アントワネット・ハダオネ (Antoinette Jadaone) の作品で、ダン・ヴィレガス (Dan Villegas) が監督しNetflixで配信された『Replacing Chef Chico』(2023年)がある。その他、TV5向けの音楽ゲーム番組『Sing Galing!』やドラマシリーズ『Niña Niño』、タレントオーディション番組『Top Class』、ドラマシリーズ『Suntok sa Buwan』、シットコム (シチュエーション・

コメディ)の『Oh My Korona』などが含まれる。また、アイリーン・ヴィラモール (Irene Villamor) が脚本・監督を務めた2023年のロマンスドラマ映画『Five Breakups and a Romance』においても、制作を支えたスタジオの一社となっている。

## Dreamscape Entertainment (ドリームスケープ・エンターテインメント)

ABS-CBN Studiosの部門。1992年に設立され、フィリピンで最もよく知られたテレビシリーズの数々を手がけている。代表作には、『Mara Clara』(1992-1997年)、アクションドラマ『FPJ's Batang Quiapo』、青春ドラマ『Senior High』、スリラー『Linlang: The Teleserye Version』などがある。また、日本テレビのドラマ『Mother』をリメイクした『Saving Grace』(全14話)や、その延長版である全40話の『Saving Grace: The Untold Story』も制作している。

## Fritz Productions (フリッツ・プロダクションズ)

アンスク립テッド (バラエティやリアリティ番組などの台本のない) 形式を専門とする制作会社。制作実績には、ABS-CBNと共同制作したオーディション番組『Your Moment』などがある。

## GMA Pictures (GMAピクチャーズ)

フィリピンの放送大手 GMA Network (GMAネットワーク) の映画制作・配給部門。1994年に Cinemax Studios (シネマックス・スタジオ) として設立され、1998年に GMA Filmsへ、2019年には現在の GMA Picturesへと名称を変更している。代表作には、伝記映画『José Rizal』(1998年)、ロマンティック・コメディ『Let the Love Begin』(2005年)、エリック・マッティ (Erik Matti) が監督しディンドン・ダンテス (Dingdong Dantes) が主演したアクション・ホラー・コメディ・SF映画『Tiktik: The Aswang Chronicles』(2012年)とその続編『Kubot, The Aswang Chronicles 2』(2014年)、そして家族ドラマの『Firefly』(2023年)などがある。最近の作品には、国民的紳士 (Pambansang Ginoo) の愛称で知られるデヴィッド・リカウコ (David Licauco) が主演し、ベネディクト・ミケ (Benedict Mique) が監督を務めた風刺コメディ

『Samahan ng mga Makasalanan』(2025年)などが挙げられる。

### **The IdeaFirst Company (ジ・アイディアファースト・カンパニー)**

2014年に映画監督のジュン・ロブレス・ラナ (Jun Robles Lana) とパーシ・インタラン (Perci Intalan) によって設立。映画プロジェクトには、Quantum Films (クアンタム・フィルム) と共同制作し、Prime Video初のフィリピン・オリジナル映画として配信されたブラックコメディ『Ten Little Mistresses (Sampung Mga Kerida)』(2023年)がある。その他、コメディ『Becky & Badette』(2023年)やドラマ『Your Mother's Son』(2024年)などを手がけている。テレビ番組の実績には、BL (ボーイズラブ) シリーズ『Gameboys』(2020年)や、トランスジェンダーの女性を描いた映画『Die Beautiful』の派生作品『Born Beautiful: The Series』(2019年)、TV5向けの『Paano ang Pasko?』(2020年) および『Paano ang Pangako?』(2021年)などがある。

### **MQuest Ventures (Mクエスト・ベンチャーズ)**

2023年に設立されたMediaQuest Group (メディアクエスト・グループ) のコンテンツ制作ハブ。映画・テレビ制作、タレントマネジメント、ライブイベントを統合している。MediaQuest Holdings (メディアクエスト・ホールディングス) の子会社であり、TV Productions (TVプロダクションズ) を通じて、主要な昼のバラエティ番組『Eat Bulaga』を制作している。また、Jescom Films (ジェスコム・フィルムズ) と共同制作した、数々の受賞歴を持つ映画『Gomburza』などの実績がある。

### **OctoArts Films (オクトアーツ・フィルムズ)**

1989年にベテランのレコードプロデューサー、オーランド・R・イラカド (Orlando R. Ilacad) によって設立。当初の音楽中心の活動から、サイモン・オングピン (Simon Ongpin) の指揮下で映画事業へと拡大した。制作パートナーには、GMA Pictures、M-Zet Productions、APT Entertainment、Star Cinema、T-Rex Entertainmentなどが名を連ねる。トニー・Y・

レイエス (Tony Y. Reyes) 監督による1990年代の作品『Ano Ba 'Yan?』を含む多くのタイトルは、2024年に開設された有料アクセスサービス Gold Premierを提供する公式YouTubeチャンネルで配信されている。特別企画として、2025年4月に逝去したスーパースター、ノラ・オーノール (Nora Aunor) の出演作を称えるノラ・オーノール・コレクションを展開。また、CineSuerte (シネスエルテ) や Moviestars Production (ムービースターズ・プロダクション) といった、現在は活動していない制作会社の旧作をデジタルプラットフォーム上で復活させる取り組みも行っている。

### **Probe Productions (プローブ・プロダクションズ)**

1988年に設立された独立系 (インディペンデント) のドキュメンタリー制作会社。ジャーナリストのチェチェ・ラザロ (Cheche Lazaro) によって設立され、『The Probe Team』、『5 and Up』、『Cheche Lazaro Presents』といった番組を制作している。

### **Quantum Films (クアンタム・フィルムズ)**

『English Only, Please』、『Ang Babae sa Septic Tank』、『Ekstra』などの映画制作で知られる。2022年には、ジェフリー・ヘトゥリアン (Jeffrey Jeturian) が監督を務め、GMA Network (GMAネットワーク) 向けに制作されたロマンティック・コメディ『What We Could Be』でテレビ界に進出した。また、Signal Entertainment (シグナル・エンターテインメント) 向けの『Big Night!』といった映画の共同制作も手がけている。

### **Reality MM Studios (リアリティ MMスタジオ)**

2000年代初頭に映画監督のエリック・マッティ (Erik Matti) とプロデューサーのドンドン・モンテベルデ (Dondon Monteverde) が設立した Reality Entertainment (リアリティ・エンターテインメント) を前身とする。サイコスリラー『Pa-Siyama』や成人向けドラマ『Rigodon』、クライムドラマの傑作『On the Job』(2013年) およびその続編『On the Job: The Missing 8』(2021年) など、珠玉の映画作品を数多く生み出してきた。また、当時のHBO Asia向けに、フランスの人気シリーズ『エージェント物語 (Call My

Agent)』のフィリピン版リメイクとなる『Call My Manager』の制作に携わっている。SNS上の投稿によれば、2023年末に撮影は終了しているが、後継サービスであるMax (マックス)からの配信日は現時点で発表されていない。

### Regal Entertainment (リーガル・エンターテインメント)

1962年に故リリー・モンテベルデ (Lily Monteverde) と夫のレオナルド・“レミー”・モンテベルデ (Leonardo “Remy” Monteverde) によって、映画配給会社として設立。旧称はRegal Films(リーガル・フィルムズ)。1970年代初頭に映画制作へと進出し、1990年までには国内トップクラスの映画スタジオへと成長した。マリセル・ソリアーノ (Maricel Soriano)、スヌーキー・セルナ (Snooky Serna)、ディナ・ボネヴィー (Dina Bonnevie)、リチャード・ゴメス (Richard Gomez) といったスターを数多く輩出し、ホラーをはじめとする幅広いジャンルの作品を手がけてきた。特に、国内最多の作品数を誇る人気ホラーシリーズ『Shake, Rattle & Roll』シリーズにより、アジアのホラー映画界における確固たる地位を築いている。これまでに1,000本を超える映画を制作しており、近作には、フィリピンの超人気俳優であるジョディ・スタ・マリア (Jodi Sta Maria) が、真実を歪め人々の人生を狂わせてきた暗い過去に苛まれるジャーナリスト、ヴィヴィアン・ヴェラを演じた『Untold』などがある。また、公式YouTubeチャンネルの登録者数は約700万人に達している。

### Rocketsheep Studio (ロケットシープ・スタジオ)

監督・アニメーターのアビッド・リオンゴレン (Avid Liongoren) によって設立された、小規模ながら専門性の高い(ブティック型)アニメーション・スタジオ。フィリピンの伝統文化と現代的なテーマを融合させた、遊び心にあふれるアーティスト主導のストーリーテリングを特徴としている。主なプロジェクトには、カルロ・ベルガラ (Carlo Vergara) の性的マイノリティ (クィア) のスーパーヒーローを描いた人気漫画をアニメ化した『Zsazsa Zaturrnah vs. the Amazonistas of Planet X』(制作中)がある。また、フィリピン初の大

人向け長編アニメーション映画であり、Spring Films (スプリング・フィルムズ) と共同制作しNetflixで配信された『Hayop Ka! (You Animal!)』(2020年)などを手がけている。

### Star Cinema (スター・シネマ)

ABS-CBNの映画部門として1993年に設立。制作プロジェクトには、GMA Pictures (GMAピクチャーズ) と共同制作し歴代興行記録を塗り替えた『Hello, Love, Again』や、8億8,000万ペソ(約1,660万米ドル)の興行収入を記録し、かつて歴代1位を保持していた『Hello, Love, Goodbye』(2019年)、AgostoDos Pictures (アゴストドス・ピクチャーズ) およびAPT Entertainment (APTエンターテインメント) と共同制作したロマンスドラマ『Rewind』(2023年)などがある。これまでに数百本もの長編映画を世に送り出してきた。

### Star Creatives (スター・クリエイティブズ)

ABS-CBN Studiosの別部門。1997年にStar Television (スター・テレビジョン) として設立された。2025年の大ヒットドラマシリーズ『Incognito』や、『A Family Affair』(2022年)といった番組の制作を手がけている。

### Studio Three Sixty (スタジオ・スリー・シックスティ)

マニラを拠点とする独立系(インディペンデント)制作会社。JP・ハバック (JP Habac) が監督を務め、カルロ・アキーノ (Carlo Aquino) とアイセル・セラノ (Eisel Serrano) が主演した『Love You Long Time』(2023年)や、レスター・ピメンテル・オン (Lester Pimentel Ong) が監督を務めたPrime Video向けのアクションシリーズ『One Good Day』など、質の高い映画やテレビ番組を手がけている。最新のシリーズ作品は、ABS-CBN StudiosのStar Creatives (スター・クリエイティブズ) と共同制作し、Netflixでも配信されている『Incognito』。レスター・ピメンテル・オン (Lester Pimentel Ong) が監督を務める同作は、贖罪を求める元軍人たちが民間軍事会社 (PMC) に加わり、犯罪に立ち向かう姿を描いている。

### TBA Studios (TBAスタジオ)

フィリピンの歴史大作映画『Heneral Luna (ヘネラル・ルナ)』や『Goyo: Ang Batang Heneral (ゴヨ: アン・バタン・ヘネラル)』などの制作で広く知られ、高い評価を得ている。

### Top Draw Animation (トップ・ドロー・アニメーション)

1999年に操業を開始。2Dデジタル制作を専門としている。主に海外のクライアント向けに、30分枠換算で年間約200本のアニメーションを制作している。制作プロジェクトには、『Rise of the Teenage Mutant Ninja Turtles The Movie (ライズ・オブ・ミュータント・タートルズ: THE MOVIE)』や、『My Little Pony (マイリトルポニー)』、『Tom and Jerry (トムとジェリー)』といった世界的に知られる作品が含まれる。

### TVJ Productions Inc (TVJプロダクションズ)

ティト・ソット (Tito Sotto)、ビック・ソット (Vic Sotto)、ジョーイ・デ・レオン (Joey de Leon) の3名、通称TVJによって2023年6月に設立されたメディア制作会社。長寿昼番組『Eat Bulaga!』の元制作会社である Television and Production Exponents Inc. (TAPE Inc) からの、さまざまな憶測を呼んだ脱退を経て発足した。新経営陣との内紛が決裂の原因とされている。MediaQuest Holdings Inc (メディアクエスト・ホールディングス) が51%、TVJの3人が49%の株式を保有する共同所有形態をとっている。看板プロジェクトは、2023年7月にTV5で放送を開始した『Eat Bulaga!』の復活版。当初は商標権紛争により『E.A.T.』のタイトルで放送されていたが、フィリピン控訴裁判所が『Eat Bulaga!』の商標および知的財産権 (IP) の所有権がTVJ側にあると認めため、元の名称を取り戻した。ほかにも『Wow Mali: Doble Tama』(2023年~2024年) といった番組を手がけており、拠点はマニラ首都圏のTV5メディアセンター (TV5 Media Center) 内にある。

### UxS-Unitel Productions/StraightShooters Media (UxS -ユニテル・プロダクションズ/ストレートシューターズ・メディア)

メディア戦略の立案・枠の確保 (メディアエージェン

シー業務) や、コンテンツ制作 (映画、放送、オンライン、イベントなど) を担う Unitel Productions (ユニテル・プロダクションズ) と、広告クリエイティブ案件を手がける StraightShooters Media (ストレートシューターズ・メディア) によって構成されている。テレビCMや、ブランドの価値を物語形式で伝えるブランデッド・コンテンツ、放送局のイメージ構築 (ネットワークブランディング)、テレビ番組の制作を専門としている。主な実績には『Isang Himala』や『Mujigae』、フィリピン版『Project Runway (プロジェクト・ランウェイ)』などがある。また、Amazon MGM Studios (アマゾンMGMスタジオ) が、同社の制作ユニットである Unitel Straight Shooters Media (ユニテル・ストレートシューターズ・メディア) と共同制作した Prime Video 向け番組『LOL: Last One Laughing Philippines』も手がけている。

### Viva Communications (ビバ・コミュニケーションズ)

1981年に映画制作会社として設立。長年にわたり、テレビ番組制作 (TV5向けの『1000 Heartbeats』など) やイベント運営、音楽、その他エンターテインメント事業へと幅広く事業を拡大・多角化してきた。TV5向けのゲーム番組『The Wall Philippines (ザ・ウォール・フィリピン)』をはじめ、これまでに数多くのテレビ番組を世に送り出している。

### 政府機関・監督機関

#### (Government Agencies/Regulators)

#### 情報通信技術省 (Department of Information and Communications Technology)

政府サービスへの情報通信技術 (ICT) イノベーションの導入および統合において、先導的な役割を担うことを目指している。

#### フィリピン映画開発協議会 (Film Development Council of the Philippines, FDCP)

映画遺産の保存を含め、フィリピン映画産業の開発、振興、および支援を担う機関。「自国の文化や遺産を擁護しつつ、国の経済発展に貢献する、世界レベルで競争力のある映画産業」をビジョンに掲げている。2002年に設立され、それまでのフィリピン映画開発基金 (FDFPI)

および映画格付け委員会(FRB)の役割を継承した。2022年には、その管轄が教育省から貿易産業(工業)省へと移管された。

#### **国家電気通信委員会 (National Telecommunications Commission、NTC)**

手頃な価格で信頼性が高く、アクセスの容易な電気通信・情報インフラおよびサービスの開発・提供を促進するため、適切な規制環境の維持を任務としている。

#### **映画テレビ審査格付委員会 (Movie and Television Review and Classification Board、MTRCB)**

映画およびテレビ番組の内容を監督する主要な政府

機関。格付制度の運用を担うほか、ガイドラインに違反するコンテンツの上映・放送停止や禁止を命じる権限を持つ。1985年に設立され、大統領府の直轄下にある。

#### **フィリピン映画アーカイブ (Philippine Film Archive、PFA)**

フィリピンの映画遺産の保存を担う国家機関。フィリピン映画開発協議会(FDCP)の傘下に置かれている。旧称はフィリピン国立映画アーカイブ(NFAP)。

©2025 Pencil Media Pte Ltd. All rights reserved.  
\*本稿に掲載した記事及び写真の無断転載はご遠慮ください。